



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

ほしは歯科医院ニュースレター

Vol.54

いつもなら「若葉萌ゆる新緑の頃」のすがすがしい陽気のはずなのに、今年は何故か思わせぶりの気候の変化ですね。G・W中は初夏を思わせる陽気だったのに、G・Wがあけた途端、ぱっとしない空模様です。気温の高低さがはげしいのが今年の特徴なのでしょうか。体調管理にはくれぐれも気を付けましょう。



若年性歯周病



歯周病はかつては「歯槽膿漏」といわれ、加齢とともに歯ぐきやそれを支える骨がもろくなり、歯が自然に抜けてしまうという歯の寿命説が有力でした。

本来は35歳前後から発症し年齢とともに増加していく病気です。喫煙、甘味の取りすぎ、過食、飲酒、運動不足などリスクファクターとなり、歯周病菌の感染を助長するのです。人の身体には悪玉細菌が侵入しても防ぐ力があります。しかし、体力が弱ってくると、抵抗の弱い部分へ病原菌が侵入し、感染を起し、歯周病が進行するのです。

むし歯のように激痛があるわけでもなく、ゆっくりと進行するため、患者さん自身がその症状を自覚するには時間がかかります。歯が動いたり、歯ぐきがはれたりしたと自覚した時には歯周病はかなり進行している場合がほとんどです。

ところで最近、糖尿病、高血圧、心臓疾患などかつては「成人病」とよばれ、今では「生活習慣病」といわれる病気の若年化が問題になっています。歯科においても同様で、『歯周病』の若年化がみられます。私が校医をしている江戸川区のある中学校で、歯科健診を行ったところ、全体の約20%の生徒に歯周病の兆候が認められました。

では何故、かつては「歯の寿命」とさえいわれ

ていた歯周病の若年化が進行してしまうのでしょうか。

原因のひとつに食生活の変化があると思われる。現代の食事は味覚や視覚を刺激したり、「食べやすさ」を追求するために多様な工夫がしてあります。硬いものや噛み切りにくいものは、敬遠され、ハンバーグなどに代表されるようなほとんど噛まなくても飲み込むことができるような食事が中心です。本来ならば、何度も噛むことで、口腔内に沢山の唾液が分泌され、歯周病菌を退治してくれるはずなのに、唾液の量が歯周病菌に負けてしまうのです。

これを改善するためには食事を硬いものや噛み切りにくいものにすればいいのでしょうか。もちろん、それもひとつの方法です。しかし、「食べやすさ」に慣れている子供たちに「食べにくさ」を求めても無理があると思います。唾液の分泌による細菌の自然退治ができない分、ブラッシングにより細菌を取り除くことを行えばいいのです。

その中学校でも給食後のブラッシングを勧めているようです。ところが生徒は「はずかしい」と言ってなかなか実践しないのだそうです。電車の中で化粧をしたり、道に座ってものを食べたりすることは恥

ずかしくないのに、何故、お口を清潔にする行為が恥ずかしいのか、私には理解ができません。歯周病が進行して、若いうちに歯が無くなってしまいうほうが、よっぽど恥ずかしいことだと思うのですが……



人生 80 年といわれる今では、歯でものを噛み食べることはとても重要です。本来ならば、自分の歯が 1 番いいのですが、内科的、外科的な健康に対する関心に比べ、歯科はどうしても後回しになってしまいがちです。また、どんなに気を使っても加齢による欠損をまぬがれにくいのは歯の特徴でもあります。欠損してしまった歯の代わりに『入れ歯』があります。

残念ながら、入れ歯とお付き合いしなければならなくなった場合、やはり、機能的にすぐれ、見た目にも違和感のないものを求めますよね。ほしば歯科医院では、『ノンクラスデンチャー』を導入しています。これは、部分入れ歯で、金属の針金が付いていない入れ歯です。材質自体に弾力性があり、見た目にも金属が見えないため、今までの入れ歯のイメージとは違います。ただ、型を取ってからアメリカの会社に作製を依頼するため、普通に入れ歯よりは時間がかかってしまいます。歯科の中でもまだ珍しいものなので、以前には、税関から「これは何ですか？」と電話がかかってきたこともありました。ほしば歯科医院で導入してから 3 年程経ちますが、今まで装着した患者さんには 100 パーセント満足の声をいただいています。設計上製作できるケースは限られますが、興味があれば声をかけてください。また、ホームページにも載っていますのでご覧ください。

<http://www.hoshiba.net>

成人歯科検診のお知らせ

期間：平成 17 年 6 月 1 日～11 月 30 日

対象者：昭和 20、25、30、35、40、45、50、55、
60 年生まれの江戸川区民

費用：無料

対象にあたる方は、是非この機会に歯の健康チェックをお勧めします。

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771 (院長直通)

E-mail info@hoshiba.net

<http://www.hoshiba.net>



お知らせ

現在、江戸川区歯科医師会で要職を務めさせていただいております。これも地域のため、皆様のためと信じ頑張っていきたいと思っています。ただ、会議が毎日のように入り、診療時間を短縮する日が増えております。予約がなく、閉院時間近くにご来院される方は、ぜひ一度ご連絡ください。又、ご迷惑をおかけいたしますがしばらくの間、木曜日は休診とさせていただきます。



編集後記

モスクワの動物園で、しろくまが、2 年以上むし歯を放置していたため、顎の骨が腐り、このままでは生命に危険を及ぼす可能性があるとして、全身麻酔で虫歯の治療、手術を行ったというニュースを見ました。以前も獣医さんから聞いた、キャットフードの軟化によって猫の歯周病が増えているという話を書きましたが、動物園の動物の餌も軟化しているのでしょうか？動物もブラッシングが必要ですね。

ほしば歯科医院ニュースレター 第 54 号
発行日 2005 年 5 月 16 日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 1-13-7

tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771

e-mail. info@hoshiba.net

<http://www.hoshiba.net>

発行責任者 干場貴司